

民間との連携

「子ども大学」が10月17日にプレ開校

小学生が大学で専門家の講義を受ける「子ども大学」が来春、太宰府市で開校することに伴い8月10日、主催するNP0「子ども大学・だざいふ・ふくおか」の吉沢みか理事長らが名誉学長を務める楠田大蔵市長を訪ねました。子ども大学の総長は筑紫女学園大学の西良准教授。

ドイツのチュービンゲン大学で端を発した「子ども大学」は、子どもの素朴な疑問に専門家が事例や体験を交えながら授業を展開。子どもの好奇心や問題意識を刺激することで、学校の授業に能動的に参加してもらえることを目指した取り組みです。九州での開校は初。10月17日(土)午後1時にプレ開校され、長崎大の山本太郎教授が新型コロナウイルス感染症について、児童文学者のアーサー・ビナードさんが児童文学について講義します。参加対象は小学4年～6年生とその保護者1人の計50組、参加費は無料。詳細は、同団体へ(☎090-5083-7835)。



子ども大学をPRする吉沢理事長(左から3人目)

他市との連携

高岡市「万葉集全20巻朗唱の会」オンライン参加

10月2日から4日まで、富山県高岡市でオンラインで開催されるイベント「第40回高岡万葉まつり『第31回万葉集全20巻朗唱の会』」への参加のため、大宰府政庁跡で8月21日、配信用の動画を撮影。楠田市長は2首を朗唱しました。

「万葉集全20巻朗唱の会」は、万葉集20巻4516首を2000人超が三日三晩かけて歌い継ぐ催し。今年は新型コロナウイルス感染症防止の観点からオンラインでの開催となり、太宰府市からは7人が参加し、18首を朗唱する予定。



朗唱する楠田大蔵市長

大学との連携

日本経済大学と太宰府市教育委員会が交流事業の覚書締結

日本経済大学と市教育委員会は、8月25日に交流事業についての覚書を締結しました。これまでも同大の学生サポーターが、ボランティアとして市内にある小中学校の学校行事などに参加してきましたが、この覚書締結を機に、部活動の外部コーチとして学生に協力してもらう他、留学生と小中学生との交流なども図る予定です。交流を通じて、地域教育の充実や活性化のために互いに協力していきます。



つづきあすか 都築明寿香学長(左)とひだきようこ 楠田京子教育長

学校

福岡農業高校「第9回ご当地! 絶品うまいもん甲子園」決勝へ

全国の高校生が、地元の食材を生かしたメニューを開発し競う「第9回ご当地! 絶品うまいもん甲子園」の九州エリア選抜大会が8月31日にオンラインで開催され、福岡農業高校食品科学科菊芋研究班が決勝へと駒を進めました。全国で105校、363チームが応募し、九州エリアからは12校、50チームがエントリー。

「ご当地の食材を生かした、【SDGs】×地元の看板メニュー開発!」というテーマに、同班はシャキシャキの触感と甘さを生かした「キクイモかき揚げうどん」を考案。麺にも菊芋を練り込むこだわりぶり。「菊芋には、食後の血糖値を下げるといわれる“イヌリン”が含まれていますが、水溶性のため、煮ると溶け出てしまいます。うどんにすることで、かき揚げから流れ出した成分も、つゆを飲めば取ることができると同班の亀川豊さん。「味には自信がある。いずれ専門店とコラボしたい」と意気込む3人。決勝大会は10月31日(土)、東京で開催されます。



の だ がい かめがけゆたか きしたまさき
左から野田凱さん、亀川豊さん、木下雅規さん

私のだざいふ

太宰府市都市計画審議会会長

おおが い とも こ
大貝 知子 さん



生れも育ちも福岡市。でも天満宮に子どもの頃によく行きました。初詣のにぎわい、いりたての椎の実の熱さ、太宰府遊園地のゴーカートなど、懐かしい思い出が一杯です。

都市計画審議会委員に参加した最初の議題は、参道周辺の特別用途地域の設定でした。建物の高度規制が中心の、参道の事業者の方々の暗黙のルールを下敷きにした規制です。若干の規制強化があるものの、地域の皆さんの協力で、円滑に決定されたことに驚きました。

子どもの頃と比べ、参道周辺は風格のある佇まいに変わりましたね。小鳥居小路には古い町屋の佇まいを生かす店舗も誕生し、参道のにぎわいに厚みが出たようです。それに、派手な色の建物が落ち着いた色の建物に建て替わるなど、皆さん、街並み景観を意識されていたりしますね。

交通問題、道路整備、福祉など、生活に密着した多くの課題がありますが、参道周辺のように、市民も行政も協力し合って解決する、そのお手伝いできればと思っています。

Contents

目次
2020年10月1日号

特集

私のだざいふ、市政ニュース
.....2~4

令和2年度高齢者インフルエンザ
予防接種を無料で実施します ...5

令和3年度経営方針.....6~7

やってみよう! 貯筋体操.....8~9

ダンボールコンポストを活用して
生ゴミ減量!10

飼い主のいない猫の
不妊去勢手術費の一部を補助します
.....11

市からのお知らせ12~15

連載.....16~26

なんでも情報コーナー ...27~35

太宰府の文化財36

トピックス

民間企業との連携

タビットがトヨタカローラ福岡のCMに登場

太宰府市PRキャラクター「おとものタビット」がトヨタカローラ福岡株式会社のCM「あいむくんの福岡ゆる旅 太宰府篇」に出演が決まり、8月26日に市内で撮影が行われました。

トヨタカローラ福岡のキャラクター「あいむくん」が県内のゆるキャラに会いに行き、一緒に市内の観光地を巡るといった内容。大宰府政庁跡や龍門神社、だざいふ遊園地、九州国立博物館など市内の人気観光地を舞台に、タビットがあいむくんと共に車だけでなく、市の魅力もPRしました。CMは、9月中旬からテレビ、YouTube、SNSなどで放映予定です。



「見てねー」と手を振る
おとものタビット(左)と、あいむくん(右)

市民・団体との連携

「青少年育成団体等表彰」受賞者が表敬訪問

公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の「青少年育成団体等表彰」が行われ、太宰府市からは個人の部で山口捷海さん、団体の部で太宰府小校区通学合宿実行委員会が選ばれ、表彰されました。また、その報告のため8月7日、山口さんと同委員会の大末精一さんが市役所を訪ねました。

山口さんは平成23年度から「放課後公民館開放勉強会」を立ち上げ、大学生ボランティアとともに小学生に勉強を教えたり、イモ植えなどの行事を行ったりと、子どもの居場所づくりを目的とした活動を展開。大学生ボランティア育成にも尽力しています。太宰府小校区通学合宿実行委員会は、家庭やテレビゲームなどから離れ、規則正しい生活を子どもたちだけで4泊5日で行う「通学合宿」を約10年間にわたって実施。豊かな生活体験を提供することを目指しています。



表彰状を手に活動を報告

寄附

明治安田生命保険相互会社寄付金贈呈式

明治安田生命保険相互会社の生井俊夫福岡支社長らが8月7日に市役所を訪れ、寄附金を贈呈されました。

同社は「地域に密着した最も身近な生命保険会社」を目指し、地域の暮らしを豊かにする取り組み「地元の元気プロジェクト」を展開。その一環として、新型コロナウイルス感染症による地域への影響をふまえ、「私の地元応援募金」を実施しています。同社や太宰府市ゆかりの同社社員から、寄付をいただきました。



寄付金贈呈式の様子

民間との連携

STEAM教育オンライン体験講座が開催されました

学習工作キットなどを販売する株式会社イーケイジャパン（太宰府市都府楼南）が8月1日から10日まで、「STEAM教育オンライン体験講座」を開催しました。本市はかねてよりSTEAM教育を推進しており、この事業を後援しております。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、今年はYou Tubeでライブ配信。同社の工作キットの組み立てのポイントやプログラミングの仕組みなどを解説し、科学や技術に親しんでもらおうという企画です。

STEAMとは、科学、技術、工学、芸術、数学の各分野を横断的に学習する教育のことで、社会の課題に対し、創造的に解決できる力を身に着けることが目的です。2020年度から小学校でのプログラミング教育が必修化されたことでも注目を集めています。



作り方のポイントをライブで配信

市政

災害時に備えて避難所開設訓練を行いました

本格的な台風シーズンを迎えるにあたり、8月29日にとびうめアリーナにおいて、市の防災力を高めることを目的に、市職員の災害対応力の向上を図る災害時避難所開設訓練を行いました。

避難所運営マニュアルや受付作業の手順を確認するとともに、新たに導入した新型コロナウイルス感染症対策用段ボール間仕切りの設営などを行い、台風10号対応に早速活かせました。



完成した段ボールの間仕切りと簡易ベッド